

多自然川づくり取り組み事例

タイトル : 「神代川かわまちづくり」における取組について		
水系 / 河川名 : 一級河川五ヶ瀬川水系 神代川	河川分類 : 中小河川	
河川の流域面積 : 4.3	整備計画流量 : 55m ³ /s	セグメント : M
事業 : 環境整備	事業開始年度	平成26年度
目標設定 : 定性的	段階	D(実施・施工時)
課題・目的(主な) : 流下能力の確保、水環境改善、ワンド・たまり、池沼の保全・再生・創出		
工法(主な) : 護岸整備、河道法線修正、管理用道路の整備、管理ルールの設定		
配慮事項(主な) : 河川景観への配慮、歴史・文化への配慮、施工管理、委員会、協議会等の開催、人材		

背景・課題、目標設定

<背景>

- ・高千穂町は、年間140万人以上が訪れる県を代表する観光地でありながら、通過型の観光が多く、観光客の増加が町中心部の賑わいにつながらないという課題を抱えていた。そこで、町中心部付近に位置し、神話の重要な舞台でもある「天真名井(あまのまない)」にスポットを当て、新たな地域の魅力を創出するための「まちづくり」に向けた動きが始まっていた。
- ・さらに、「天真名井」の傍を流れる「神代川」については、昭和47年の河川改修により直線的なコンクリート三面張りの河道となったことで、古代を彷彿とさせる環境・景観が失われ、かつては豊富だった「天真名井」の湧水も減少し、その結果、地域の人々の暮らしと神代川とのつながりも希薄になっていることから、神話の地にふさわしい本来の姿を取り戻すための「かわづくり」に向けた取組が始まっていた。

<課題>

- ・上述のように、神代川は昭和47年の河川改修によって直線的なコンクリート三面張りの河道となっていることから、かつての自然豊かな環境、景観、そして地域の歴史や人びとの暮らしとの密接なつながりを取り戻すための河川環境再生に取り組む必要がある。

<目標>

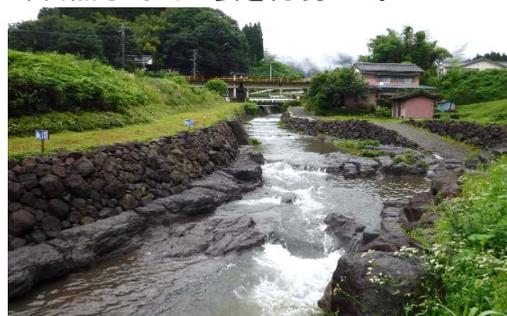
- ・高千穂町が実施する「まちづくり」と、県が実施する「かわづくり」とに連携して取り組むことにより、地域の魅力の向上と賑わいの創出、そして「ひと」と「かわ」とが密接に関わる自然豊かな河川環境の再生を目指した「神代川かわまちづくり計画」を策定し、以下の目標の実現に向けて、今日までハード・ソフト両面で様々な取組を実践してきている。
1. 高千穂地域のもつ神話・歴史という文化的資源を生かしたかわまちづくり
 2. 水循環の復活を実現するかわまちづくり
 3. 地域の人びとの生活・文化と直結し、地域の賑わいを復活するためのかわまちづくり

取り組み内容・対策例(1/2)

1. 河道を蛇行させ、かつての神代川の姿を再現した。



2. 護岸は石積、河床は自然石と擬岩コンクリートで施工し、自然な河川の姿を再現した。



取り組み内容・対策例(2/2)

3. 専門家による検討委員会と地域住民等との推進協議会を定期的に行い、細部まで意見を反映させてきた。



4. 施工見学会や小学校等への山前講座を実施し、地元の人々や子供たちの意識の醸成に努めた。



モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

<アピールポイント>

- ・まだ事業の途中段階ではあるが、施工済の区間については自然に近い景観、環境が再生されてきており、様々な水生生物も生息するようになり、子供たちの学習や川遊びの場として、また、地域の人びとの憩いの場として、活用が始まっている。
- ・毎年継続して検討委員会、推進協議会を開催し、事業の状況報告や意見交換を密に行い、計画と現場に反映させてきたことによって、専門家や地域住民との強い信頼関係が築かれ、円滑に事業を進捗することが出来ている。



<今後の対応>

- ・令和4年度の事業完了を目標とし、さらなる事業の進捗に努めていくとともに、県内外への幅広いアピールの実現に向けて、情報発信の強化に取り組んでいく。
- ・事業完了後の神代川の活用方法、持続可能な維持管理体制の構築について、検討委員会、推進協議会における協議を行いながら、方針を策定していく。

備考